



生活だより

昨年度、携帯電話安全教室を開催した時の生徒皆さんの反応はどの生徒も「怖い」「安全に使いたい」でしたが、日に日に講演のことを忘れ携帯電話やメールによるトラブルは後を絶っていません。本年度も早い時期に携帯安全教室を行いたいと考えています。今回は携帯電話のフィルタリング機能等について以下に書かせていただきます。

「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が平成21年4月1日に施行されました。この法律により、青少年が自らの意思のみでインターネット契約をすることができなくなり、さらに、青少年有害情報フィルタリングサービスの利用が義務化されました。また、この法律により「保護者の責務」が明確になり、特に青少年有害情報フィルタリングサービスを利用するか否かについては保護者の判断に委ねるということになっています。

これらの状況を踏まえ、今回は携帯電話のフィルタリングサービスについてご紹介します。

フィルタリングの技術を活用しよう！

青少年有害情報フィルタリングサービスとは、青少年（18歳未満）が携帯電話を利用して危険なサイトにアクセスしないよう、アクセスを制限するサービスのことです。



暴力・ポルノ・出会い系・ドラッグなど



危険なサイトを
ブロック

ダメ！
ダメ！
ダメ！
ダメ！



安全な
サイト



フィルタリングの通称	フィルタリング技術の概要
コンテンツチェック方式	登録したキーワード（暴力、ポルノ、出会い系、ドラッグなど）が含まれるサイトへのアクセスを制限する。
レイティング方式	関係業者が、各サイトについて適切か不適切かについて分類して格付けをし、利用者が分類ごとにアクセス制限のレベルを判断して設定する。 (暴力3 アダルト2 など)
ブラックリスト方式	URLチェック方式の一種。有益でないと判断されたサイトのURLをリストに登録し、リストにあるサイトへのアクセスを制限する。
ホワイトリスト方式	URLチェック方式の一種。有益であると判断されたサイトのURLをリストに登録し、リストにあるサイト以外へのアクセスを制限する。

フィルタリング機能の紹介

上記のような技術を組み合わせることにより、携帯電話各社では様々なフィルタリングのサービスを提供しています。（携帯電話会社により、サービスの内容が異なりますので、ご注意ください。）

強さ	フィルタリングサービスの概要
強	アクセスできるサイトを、携帯電話会社のサポートページなどに限定する。 (一般的なインターネットサイトへのアクセスを制限する。)
強	ホワイトリスト方式により、有益であると判断されたサイトのみアクセス可能にする。
中	コンテンツチェック方式、レイティング方式、ブラックリスト方式などにより、有益でないと判断されたサイトへのアクセスを制限する。 (フィルタリングのレベル調整をすることができる場合もある。)
—	インターネットに接続できる時間帯を制限する。



裏へ



フィルタリング機能の活用術!!

携帯電話におけるトラブルのほとんどは、インターネット機能の利用が原因です。適切に利用するためのモラル指導はもちろん必要ですが、子どもの発達段階に応じてインターネットサイトへのアクセスを制限することができます。

その1 電話とメールは使わせたい。でもインターネットは使わせたくない!

携帯電話を持たせる場合、電話とメールができれば十分というケースがあります。しかし、メール機能を契約するとインターネット接続機能が自動的に付加されてしまいます。この場合の対策として、ホワイトリスト方式によりアクセスできるサイトを携帯電話会社のサポートページなどに限定するという方法があります。他のインターネットサイトへのアクセスは不可能になりますが、GPS（携帯電話の位置を知るシステム）やワンセグ（テレビなどを見る機能）などの機能は利用が可能です。

その2 危険なサイトへのアクセスのみ制限したい!

子どもの発達段階に応じてアクセスできるサイトを調節したいというケースがあります。携帯電話会社によっては、フィルタリングの制限の強さを数段階設けているところもあります。購入や契約の前にフィルタリング機能について比較してみることも大切です。

その3 特定のサイトへはアクセスできるようにしたい!

フィルタリング機能を利用したものの、アクセス許可するサイトを増やしたいというケースがあります。この場合の対策として、ホワイトリスト方式によりアクセス許可するサイトを追加することができます。見たいサイトが見えないからといって、フィルタリングを解除することは危険です。

その4 携帯電話への依存傾向が強い。深夜の使用を制限したい!

携帯電話によるトラブルの多くは深夜に発生しています。掲示板への書き込み、ブログやプロフの更新、ゲーム、メールの返信など携帯電話に夢中で昼夜逆転から抜け出せないなどの報告も数多くあります。

この場合の対策として、携帯電話からインターネット接続機能を利用できる時間帯を設定することができます。（深夜は利用させないなどの設定が可能です。）

その5 迷惑メールを受信拒否したい!

チェーンメール、出会い系サイトへの勧誘メール、架空請求メールなどの多くにはサイトへのURLリンクが含まれています。このような迷惑メールについては、URL付きのメールを受信拒否するという設定をすることができます。



ダメ
ダメ
ダメ
ダメ
ダメ
ダメ



※携帯電話会社によりフィルタリングサービスの内容が異なりますのでご注意ください。

<p>今どきの携帯は携帯電話というよりもパソコンにおまけで携帯電話機能が付いている!! ケータイ（スマホ）電話を契約する時…（保護者との約束事を決めましょう!）</p>
<p>保護者としての考え方を示しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータイ電話は、親のかかわりを超えて、子どもの交友関係を広くしています。今や双林はパソコンです。 ・「友達を持っているから!みんなが持っているから!」だけで、利用させないようにしましょう。 ・購入するときは、料金も含め利用時間や利用方法などの約束事を決めましょう。
<p>携帯電話の光と影について話し合しましょう</p> <p><u>ケータイ電話の利用過多による影響について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話が側にないと落ち着かない（携帯電話依存症）、携帯電話に支配された人間関係（携帯中毒） <p><u>ケータイ電話に潜む危険について ラインによる閉ざされた人間関係</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不当料金請求、迷惑メール、個人情報の公表や名誉毀損など <p><u>未成年者でも罪になる行為について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる「出会い系サイト」に援助交際の相手を募集するなどの書き込みをすると、未成年者であっても罰せられます。 <p><u>有害サイトアクセス制限（フィルタリング）サービスについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケータイ電話の「有害サイトアクセス制限（フィルタリング）」サービスを利用しましょう。
<p>「ケータイ電話のルール」をつくりましょう（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事中はケータイ電話の電源を切っておく。（家族の会話を大切に） ・迷惑メールやチェーンメール等は、だれにも転送しない。 ・むやみに、自分や友達の電話番号やメールアドレスなどの個人情報を教えない。 ・公共の場（学校、図書館、電車、病院など）での使い方やマナーを守る。 ・NOケータイ電話DAYをつくる。（直接コミュニケーションを大切に） ・決められた料金のなかで、電話やメールを利用する。 <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">スマホ急増の影響大</p>